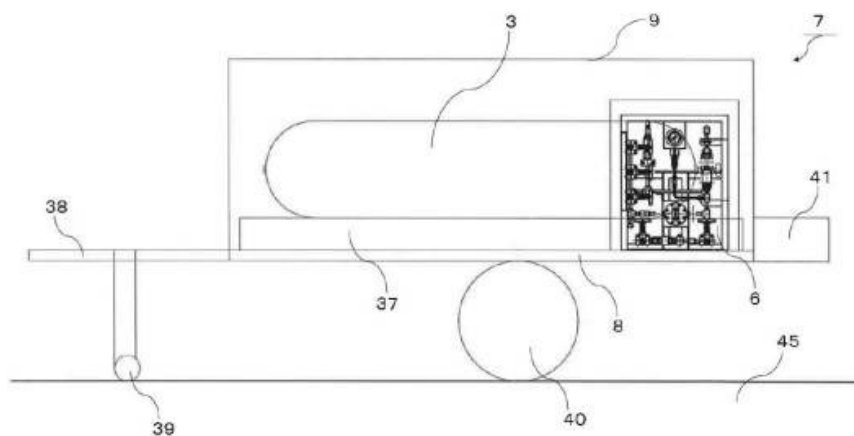


エネルギー

小型化、省エネ化を実現した移動式水素ステーション

発明の名称	移動式水素ステーション		
出願人/権利人	ヤマト・H2Energy Japan株式会社	発明者	平瀬 育生、田中 秀典
出願日	平成28年2月3日	出願番号	2016-18758
公開番号	2017-137926	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



3 蓄圧器、6 蓄ガス器ユニット、7 トレーラ、8 台座部、9 ハウジング、
37 固定部、38 連結器、39 前輪、40 後輪、41 パンパ、
45 路面

発明の概要

高圧水素ガスの水素ガス使用設備に高圧水素ガスを供給する移動式の水素ステーション。

特徴

近年では、多様な場所での水素ガス供給の必要性が高まっており、移動可能な水素ステーションの存在が求められている。

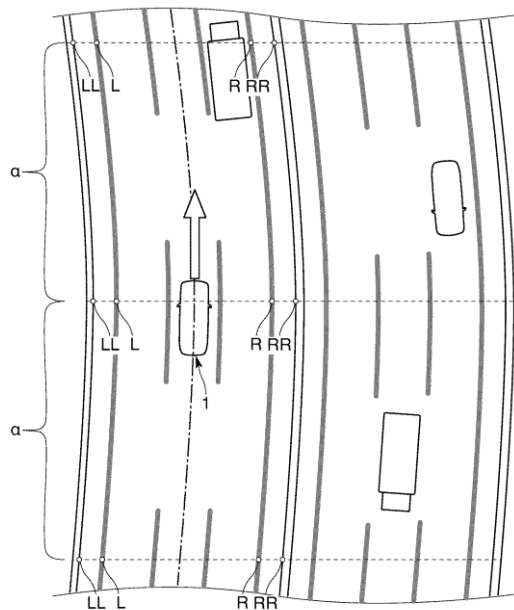
小型化、省エネ化を実現した移動式水素ステーションは、FCVなどの水素ステーションや水素燃料電池の水素充填装置に有用である。構成がコンパクト(水素ガス蓄圧器、蓄ガス器ユニット、ディスペンサー)で、装置をトレーラーに乗せて、牽引車で容易に移動させることができる。また、ディスペンサーを取り外して、トレーラーを移動させることも可能である。

関連分野

業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、建設・土木、運輸サービス

発明の名称	操舵支援システム		
出願人/権利人	株式会社データ変換研究所	発明者	畑中 豊司
出願日	平成28年2月2日	出願番号	2016-18333
公開番号	2017-138163	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



α...移動経路の部分

LL、L、R、RR...移動経路の幅方向の所定位置(道路側壁、道路外側線)

発明の概要

移動経路に沿って移動しようとする移動体の操舵を支援するシステム。

特徴

移動体の自律制御、自動運転または半自動運転の用途に供すために、空間内に存在する移動経路や障害物の位置や形状を精密にデータ化して蓄積しようとする、データ量が膨大となる上、そのデータを利用して移動体からの距離や方向を把握するための処理が複雑化し、計算量が増大して処理の遅延を招くことが問題となっている。

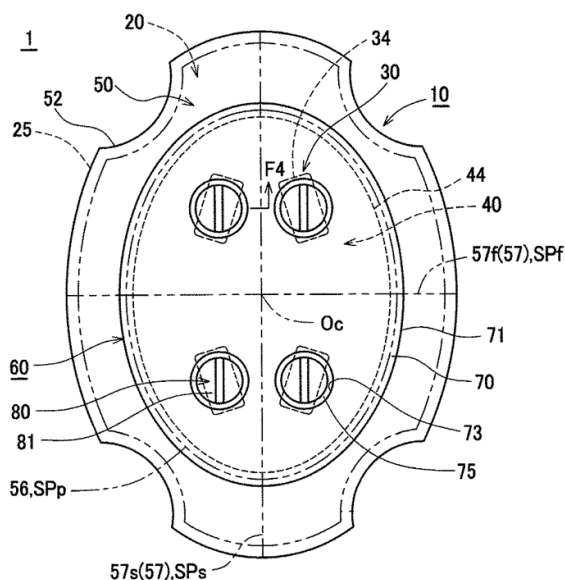
本発明は、移動体が移動しようとする移動経路を軽量かつ利用容易なデータの形で表現し、移動体の周囲に存在する経路の検出、移動体の制御を容易にすることが出来るシステムである。

電子部品・素子

取り換え容易なバイクライダー用路面センサー

発明の名称	路面センサー		
出願人/権利人	堀川 剛志	発明者	堀川 剛志
出願日	平成28年2月14日	出願番号	2016-25383
公開番号	2017-141534	特許番号	6021039
法的状態	登録中		

代表図



1 路面センサー 10 装着部 20 貼付部 25 端部 30 座付きナット 34 座部 40 収容板 44 外周 50 被覆部 52 端部 55 端部系 56 外周系 57f 短軸軸系 57s 長軸軸系 60 検知部 70 本体部 71 外周 73 貫通穴 75 段部 80 ボルト部 81 頭部 SPf 短軸縫合位置 SPp 外周縫合位置 SPs 長軸縫合位置

発明の概要

バイクライダーが着用するスーツの膝部分に装着される路面センサー(膝当て)。

特徴

バイクライダーは膝を路面にこする態勢でカーブを曲がる。ライダーの膝を保護するために装着される膝当てに路面センサーを組み込むことにより、路面との接触状況を判断し、膝の保護性能を高めることが出来る。しかし、従来の路面センサーは構造が複雑で加工が必要なため、部品費用や製造コストが高い。

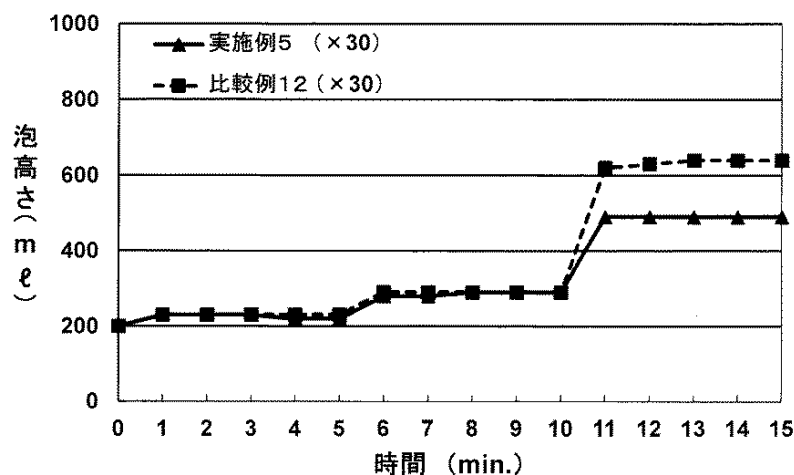
本発明の路面センサーは、簡潔な積層構造を有するので製造が容易となり、低コストで製造工程を簡略化できるため、信頼性も高い。また、本体部が摩耗、損傷した場合などに、路面との接触を検知する検知部の取り替えが容易である。

ケミカル

環境に対する悪影響が少ない水溶性防錆添加剤

発明の名称	水溶性防錆添加剤及び水溶性金属加工油剤		
出願人/権利人	大同化学工業株式会社	発明者	正野 恵美、武内 邦浩
出願日	平成28年2月24日	出願番号	2016-033386
公開番号	2017-149842	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



発泡量(泡高さ)の推移を示すグラフ

発明の概要

防錆性に優れ、低泡性で、環境に対する悪影響が少ない水溶性防錆添加剤。

特徴

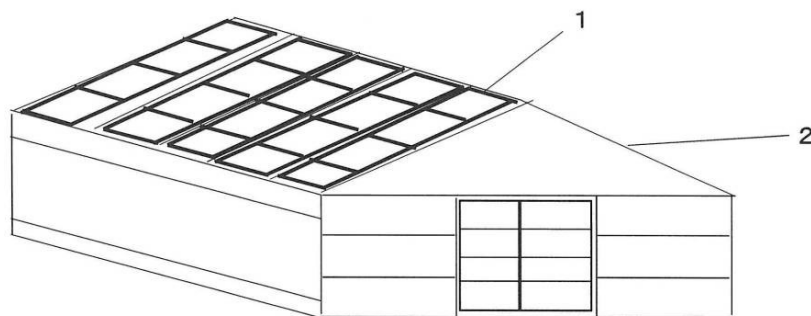
従来の防錆剤では、酸性雨、水質汚濁など環境に対する様々な悪影響を及ぼす物質が使用されていた。

本発明は、スカム(汚泥から発生するガスによる分厚い層)の発生がなく、環境への悪影響が少ない。低泡性、優れた防錆性を有しており、水溶性金属加工油剤の防錆添加剤として有効である。

ポリエチレンポリアミン誘導体の塩を含有する水溶性防錆添加剤は、水溶性防錆添加剤を金属加工油剤に含有させることにより、水溶性金属加工油剤として切削・研削、塑性加工、洗浄、熱処理などの用途に幅広く適用できる。

発明の名称	農業用ハウスの施工方法		
出願人/権利人	株式会社オーガニックnico	発明者	中村 新、石田 昌司
出願日	平成28年4月12日	出願番号	2016-079605
公開番号	—	特許番号	6187949
法的状態	登録中		

代表図



1 屋根パネル部材 2 農業ハウス構造部材

発明の概要

農業用ハウスに用いられる二重透光フィルム全体の光透過率を高めることができる施工方法。

特徴

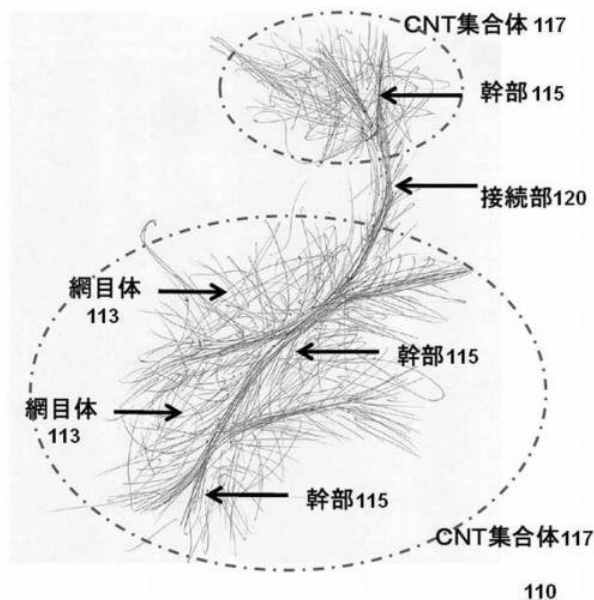
従来の農業用ハウスは、保温性が非常に良いが、ハウス内に取り込める光量が低下するという問題点があった。

本発明では、二重透光フィルムを有するハウスの建設方向として、東西棟とすることで、南北棟よりも入射角が小さくなるのでフレネル反射率が低下し二重透光フィルム全体の光透過率を高めることができる。保温性の向上とともに、ハウス内光強度も高く均一に維持されるため、無加温または小型の暖房機または少量の燃料で各種作物の最適生育環境を実現し、収穫量を高く維持することができるので、農業経営において非常に有益である。

安定して分散可能なカーボンナノチューブ分散液

発明の名称	CNT分散液、CNT成形体、CNT組成物、CNT集合体及びそれらの製造方法		
出願人/権利人	国立研究開発法人産業技術総合研究所	発明者	畠 賢治、小橋 和文、フタバ ドン エヌ
出願日	平成28年2月24日	出願番号	2016-032841
公開番号	2016-117647	特許番号	6082913
法的状態	登録中		

代表図



CNT群110の模式図

発明の概要

分散性が高く、安定したCNT(カーボンナノチューブ)の分散液、CNT成形体、CNT組成物、CNT集合体の製造方法。

特徴

電子機器、電子放出源や二次電池を製造する際には、CNTを溶媒に分散した懸濁液を作成し、印刷技術を用いて基板となる支持部材上に懸濁液のパターンを形成した後、溶媒を乾燥・除去し、所望の形状を得る方法がある。従来の分散液は、CNTを高濃度で安定に分散させることができないという問題があった。CNTに与える損傷が非常に少なく、CNTの優れた電気的特性や熱伝導性、機械的性質を維持しつつ、分散性が高く、高濃度で安定したCNT分散液、CNT成形体、CNT組成物、CNT集合体およびそれらの製造方法を提供する。

ケミカル

錠剤などの経口製品に使われる密着性のあるインク

発明の名称	インク及びこれを用いた可食体の製造方法並びに可食体の印刷方法		
出願人/権利人	クオリカブス株式会社、御国色素株式会社	発明者	栃尾 信治、森田 恭朗、前田 智行、渡邊 勝之
出願日	平成28年1月18日	出願番号	2016-570631
公開番号	WO2016/117515	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図

* 各分子量はPEO,PEG分子量基準の相対値である。

実施例/比較例	サンプル	測定回数	Mn 数平均 分子量	Mw 重量平均 分子量	Mz z平均 分子量
実施例2. 4	PVP K-25	RUN1	4,448	18,381	52,162
		RUN2	4,541	18,200	49,874
		Ave.	4,495	18,291	51,018
実施例1. 3	PVP K-30	RUN1	6,215	28,396	77,679
		RUN2	6,586	27,081	65,516
		Ave.	6,401	27,739	71,598
比較例5	PVP K-120	RUN1	114,795	529,705	1,222,878
		RUN2	171,101	520,909	989,585
		Ave.	142,948	525,307	1,106,232

水溶性高分子の種類及び数平均分子量、
重量平均分子量及びz平均分子量の測定結果

発明の概要

錠剤やカプセル剤、食品等の経口製品の表面にマーキングを施すためのインク。

特徴

色材として活性炭を用い、水溶性高分子を含有するインクである。材料を添加したり分散粒子径を調整することにより、インクは体内摂取可能な成分のみで構成されている。特に錠剤表面への優れた密着性を有し、インクジェット方式での印刷においても連続吐出を可能にする優れたインクである。耐水性、耐光性、耐擦過性が優れ十分な着色性を備えた優れたインクを得ることができる。本発明のインクを用いることで、偽造防止、トレサビリティの確保、誤飲防止、識別性の向上、アミューズメント性の付与等様々な目的で、医薬品、食品等への印刷を行うことができる。

関連分野

飲食、医薬、医療・保健衛生、印刷